



東京産業保健総合支援センター研修案内(令和6年3月)

- ◇研修は当センターのホームページからお申し込みください。※利用者登録(無料)が必要です。
- ◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。
- ◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=<https://www.tokyos.johas.go.jp>

◆日医認定産業医研修◆

※基礎研修は実施しておりません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

◆注意◆

令和2年10月開催分から「日医認定産業医研修」の受付方法を変更しております。

お1人様、月1回のみの受講となっておりますので、必ず当センターホームページに掲載してある【「日医認定産業医研修会」の受付方法の変更について】(令和5年5月31日から一部変更)をご覧ください、ご了承の上、お申し込みください。

先着順です。(抽選ではありません。)

日医認定産業医研修(令和6年3月開催分) 申込受付日時 早見表

申込受付日時		研修日時		研修テーマ	単位
2月2日(金)	10時～	3月1日(金)	14時～16時	事例検討～復職支援の勘どころ～	実地2
	10時30分～	3月5日(火)	14時～16時	海外派遣労働者の健康管理～新型コロナウイルス対策も含めて～	専門2
2月5日(月)	10時～	3月8日(金)	14時～16時	労働衛生上の社会問題とその後の対策(その1)	専門2
	10時30分～	3月12日(火)	13時30分～16時30分	作業環境測定方法	実地3
2月6日(火)	10時～	3月14日(木)	14時～16時	労働安全衛生法等の動向～法令の相次ぐ改正を考える～	更新2
	10時30分～	3月18日(月)	14時～16時	職場復帰支援について	実地2
	11時～	3月28日(木)	14時～16時	事例検討～産業医としてどう対応するか～	実地2

研修日時	研修テーマ	講師	単位	定員
3月1日(金) 14:00～16:00 申込受付日時 2月2日(金) 10時～	事例検討～復職支援の勘どころ～ うつ病や適応障害による休職者の復職支援、復職判定について、事例を踏まえ業務起因性精神疾患の考え方、休職者の心理、リワークを含めた休職中の支援の進め方を検討します。また診断書や意見書など主治医との効果的な情報交換の方法もご紹介します。	榊ジャパンEAPシステムズ取締役・顧問医 米沢 宏	生涯・実地2	50
3月5日(火) 14:00～16:00 申込受付日時 2月2日(金) 10時30分～	海外派遣労働者の健康管理～新型コロナウイルス対策も含めて～ 社会のグローバル化に伴い、海外に社員を派遣する企業が増えています。こうした海外派遣社員には感染症など様々な健康問題があり、それに対応するための健康管理対策が求められています。本研修では、産業医が海外派遣労働者に提供すべき健康管理対策について、新型コロナなどの感染症対策を含めて解説します。	濱田 篤郎	生涯・専門2	55
3月8日(金) 14:00～16:00 申込受付日時 2月5日(月) 10時～	労働衛生上の社会問題とその後の対策(その1) およそ80年にわたる労働衛生史の中で大きな社会問題となった4つの事例のうちベンゼン中毒問題、6価クロム問題について振り返り、その後の対策の経過を学び、今後の労働衛生対策について考える。	石井 義脩	生涯・専門2	55
3月12日(火) 13:30～16:30 申込受付日時 2月5日(月) 10時30分～	作業環境測定方法 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立てる」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の二酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	小嶋 純	生涯・実地3	16
3月14日(木) 14:00～16:00 申込受付日時 2月6日(火) 10時～	労働安全衛生法等の動向～法令の相次ぐ改正を考える～ 化学物質については、今後労働安全衛生法の規制対象物質が大幅に増加し、化学物質と無縁だと思っていた事業場でもそうもいっていかなくなる事が予想されます。個人事業主に対する労働安全衛生法上の対応についても一定規則の改正等が行われましたが、今後も改正が続くことが予想されます。脳心臓疾患や精神障害の労災認定基準等についても変更が相次いでいます。労働安全衛生法等についてどのような改正が行われ、今後どのような動向となっているかについて考えてみたいと思います。	中山 篤	生涯・更新2	55

<p>3月18日(月)</p> <p>14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 2月6日(火) 10時30分～</p>	<p>職場復帰支援について</p> <p>「心の健康問題により休業した労働者の職場復帰支援の手引き」のフローに沿って、休み始めから復帰後に至るそれぞれのステップでの支援に関して、事例を示しながら解説します。</p>	<p>森田 哲也</p>	<p>生涯・実地2</p>	<p>50</p>
<p>3月28日(木)</p> <p>14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 2月6日(火) 11時～</p>	<p>事例検討～産業医としてどう対応するか～</p> <p>職場で直面する健康管理上の問題事例を取り上げ産業医としてどのように考え、どう対応するのが望ましいのか、一緒に考えていきたいと思っています。</p>	<p>内田 和彦</p>	<p>生涯・実地2</p>	<p>50</p>

◆産業保健研修◆ 産業看護職・衛生管理者・人事労務担当者等産業保健スタッフを対象とした研修です。

※単位等の取得はできません。

●産業保健研修の申込受付開始は、すべて2月1日(木)10時～です。

<会場研修>

研修日時	研修テーマ	講師	定員
3月4日(月) 14:00～16:00	自前で進める「セルフケア」研修 社内担当者が「セルフケア」研修を実施する際のポイントの解説と研修内容の組み立てを実習します。	森崎 美奈子	35
3月6日(水) 14:00～16:00	働き方改革関連法をめぐる現状と課題 ～時間外労働の上限規制とカスタマーハラスメント～ 2019年4月に施行された「働き方改革関連法」及び同法の基礎となった「働き方改革実行計画」について時間外労働の上限規制を中心として振り返り、長時間労働者の現状と課題及び2024年4月に施行される「適用猶予事業・業務(建設業、自動車運転者及び医師)の時間外労働規制のあらましを解説します。 また、2023年9月に「精神障害の労災認定基準」に追加されたカスタマーハラスメントの対策について解説します。	荒川 輝雄	55
3月7日(木) 14:00～16:00	働く人の健康づくりは日常生活の動作改善から～「転倒防止」「腰痛・肩こり予防」～ 働く人の身体機能低下による「腰痛」「肩こり」の慢性化、「転倒」などの労働災害が増加しています。 この講習会では、関節などにふれながら骨、筋肉、関節を連動して動かす「骨ストレッチ」を紹介していきます。 骨ストレッチを行うと、日常生活の動作の筋肉への負担が減り、楽に動けるようになるので「腰痛」「肩こり」などの予防になります。 また、骨・筋肉・関節が連動して動くので脚も上がりやすくなり、「転倒」災害の防止につながります。 実技を交えながらの講習会ですが、普段着で年齢に関係なく、誰でもその場で簡単に実施できます。 また、職場で無理なく展開できる方法について紹介しますので、この機会に体験していただき職場の健康づくりに役立てていただきたいと思います。 ◆重要◆体を動かしますので、水分補給のため、飲み物をご持参ください	スポーツケア整体研究所(株) 小沼 博子	29
3月11日(月) 14:00～16:00	職場で信頼される産業看護職になろう！ ～どう進める？メンタルヘルスに関する1次予防対策～ 職場のメンタルヘルス対策の中でも特に1次予防対策に焦点を当て、事例をもとに産業看護職同士の意見交換の機会も設けながら、必要な視点やスキルを整理します。 メンタルヘルスに関する1次予防対策を具体的に進める際の困り事なども含めて率直に話し合い、職場での対策推進に活かしましょう。 ◆注意◆ この研修に参加できるのは、「産業看護職(保健師・看護師)」のみです。 ◆お願い◆ テーマに関して産業看護職として日頃感じている「疑問・質問」をお寄せください。 参加申込後、当センターから「3月11日研修 疑問・質問依頼」メールをお送りいたしますので、そちらへご入力ください。	錦戸 典子	24
3月13日(水) 14:00～16:00	労働衛生管理の基礎と事例 ～企業の安全配慮義務違反をリスクと考えた快適職場環境を形成するために～ 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。 今回は、テーマの法律面および現場の実務面について、スライドを用いて具体的な事例を説明します。(1時間30分) 最後に短時間ですが質疑応答の時間を設けています。(30分)	吉田 守	55
3月15日(金) 14:00～16:00	ナッジでトライ！禁煙支援 筋金入りの喫煙者にどうアプローチしたらいいのか悩んでいるあなた！ 本研修会は、そんなあなたのための研修会です。 世界の保健政策で活用されている「ナッジ理論」を禁煙支援に取り入れてみました。 令和14年度には、喫煙率12%が国の目標です。 この実現のためにもナッジを効かせた禁煙支援、学んでみませんか？ ◆注意◆ 現在、禁煙化されていない(屋内に喫煙室・喫煙コーナーあり)事業場の関係者を対象とします。	斎藤 照代	55
3月21日(木) 14:00～16:00	メンタルヘルス不調の職場復帰支援 ～適応できなくなる特性を持つ2次障害の事例を踏まえて～ 休職の経緯として、きっかけはいろいろありますが、うつ症状等のためにお休みになる状態はほぼ共通しているでしょう。しかし、うつ症状の改善だけでは復帰が進まない、特性を持つ場合は、特に考えていかないといけない状況が見えてきます。いかがでしょうか。 関わりには、職場や関係者の不調の理解を深めることは必須であり、見合う職場環境を考える、また、その人らしい働き方を見つける、背景を加味しながら支援する時でしょうか。求められる支援、まさにディセント・ワークをめざす職場復帰支援の流れを感じています。そんな事例をお伝えしながら、深める支援を考えていきたいと思っています。	労働者健康安全機構産業保健 アドバイザー 公認心理師 菅野 由喜子	55
3月26日(火) 14:00～16:00	過労死等を防ぐために 令和4年度の過労死等の労災認定件数は904件となり、このうち、精神障害の労災認定件数は710件と過去最多になりました。 こうした事案を防ぐには、各社が取り組んでいる長時間労働削減案や健康確保、メンタルヘルス、ハラスメント等の対策について、現状や課題を分析し、さらなる対策を推進していくことが重要です。 また、労災認定された事案から、過労死等を防ぐために必要なことは何か、考えていきたいと思っています。	野村 みどり	55